

ウクライナ人道危機への対応 (2022年12月20日現在)

<日本赤十字社の対応>

厳しい状況に苦しむ女性を元気づけるウクライナ赤十字社ボランティア (C)ウクライナ赤十字社



1. 「[ウクライナ人道危機救援金](#)」の募集：
2022年3月2日～**2023年3月31日 (予定)**
2. 国際赤十字への資金拠出：**計50億2000万円 (ICRC・連盟に半々)**
3. 人的貢献：
 - ①ウクライナ赤十字社との保健医療二国間支援の調査のため医師＋本社職員からなるアセスメントチームをウクライナリヴィウに派遣 (8月8日～8月21日)
 - ②日本赤十字社から寄贈した可搬型X線装置の操作指導のため放射線技師 1 名をウクライナ ウジユホロドに派遣 (7月15日～7月25日)
 - ③心理社会的支援事業を支援するこころのケア要員として日赤臨床心理士をポーランドに派遣(6月3日～8月4日)
 - ④ウクライナ赤十字社の仮設診療所の開設支援のため、薬剤師1名をウクライナ ウジユホロドに派遣 (4月28日～6月22日)
 - ⑤国際赤十字・赤新月社連盟の緊急救援ロジスティクス倉庫運営主任として職員 1 名をモルドバに派遣 (3月25日～7月22日)
 - ⑥調整員として本社職員を国際赤十字の調整拠点 (ウクライナ及びハンガリー) へ派遣 (3月15日～)
 - ⑦幹部職員による現地の支援確認・戦略協議
4. 広報：赤十字の7原則や国際人道法の普及

資金拠出先	支援要請額 (対象期間[予定])	主な使いみち (それぞれの支援要請 (緊急アピール) や活動報告書の日本語訳 活動実績 のページに掲載しております)
赤十字国際委員会 (ICRC) (主にウクライナ国内の武力紛争地域を対象に支援)	3億8,900万スイスフラン (約575億円) ※2022年10月増額改訂 (2022年12月末迄)	<ul style="list-style-type: none">・紛争犠牲者支援 (避難民/負傷者/被拘束者含む)、民間人の保護・飲料水、食料、医薬品などの物資の提供・家屋やインフラの修復、こころのケア、安否調査・国際人道法の普及や地雷・不発弾のリスクの啓発、遺体の取り扱い等
国際赤十字・赤新月社連盟 (主にウクライナ国内及び周辺国を対象に支援)	5.5億スイスフラン (約813億円) (2024年2月末迄)	<p>国際支援の調整＋現地及び周辺国赤十字社の活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none">・ウクライナから避難された方の受入支援、避難所の提供・現金・救援物資の配付・情報提供 (携帯電話SIMカード等を含む)・医療支援、こころのケア等

ウクライナ及び周辺国への避難民に対する赤十字の支援

避難民数：1,443万人以上

(内訳) 国内避難民、654万人、国外への避難民 789万人

(国内避難民の数 (10/27時点) 出典：IOM 国外避難民の数 (11/29時点) 出典：UNHCR)



ポーランド：ワークショップでペアワークをする参加者と森光心理士（写真中央左）



ベラルーシ：チャイルドフレンドリースペースで遊ぶ赤十字ボランティアと子どもたち©ベラルーシ赤十字社



ロシア：ベルゴロドのサービスステーションに来た避難民と赤十字ボランティア©IFRC



周辺国への
避難民

国内避難民

戦闘地域

第3国への
避難民



ルーマニア：ア国境付近で避難民の携帯電話にSIMカードを入れる赤十字ボランティア ©IFRC Angela Hill

国際赤十字・赤新月社連盟
International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies

国際赤十字・赤新月社連盟
International Federation of Red Cross and Red Crescent Societies



ウクライナ：現地の放射線技師にX線撮影装置の操作方法を指導する大島技師



ウクライナ：赤十字ボランティアが再建した橋で避難誘導を実施(C)ウクライナ赤十字社

2022年10月末までの支援実績



ウクライナ：キーウにて巡回診療を行う医師 (C)IFRC

ウクライナ：避難所でのこころのケアイベント (C)IFRC Anette Selmer-Andresen



ウクライナ：キーウにてウクライナ赤十字社緊急対応チームが温かい食べ物を提供(C)ウクライナ赤十字社

国際赤十字の支援実績(2022.10.31までの累計)



1,030万人：
安全な水の提供



91万4,000人：
保健医療支援



1,170万人：
物資など基本的支援



91万1,000人：
現金給付支援



150万人：
居住支援



23万人：
保護・予防支援

ウクライナ：ヴィンニツィアにて、家屋の窓の修復を支援する赤十字ボランティア(C)ウクライナ赤十字社



各家庭に毛布や寝袋、ヒーターなど冬を過ごすための物資を配付 (C)IFRC



日本赤十字社のウクライナにおける中長期支援について

リヴィウ：

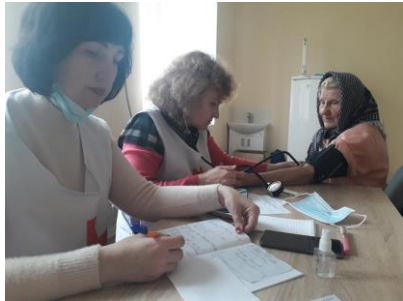
- ①リヴィウ州リハビリテーションセンター支援
- ②リヴィウ州ウクライナ赤十字社サービスセンター支援

リハビリテーションセンターでのリハビリの様子



リハビリテーションセンター改修に向けた協議

イヴァノフランキウスク： 巡回診療支援



イヴァノフランキウスクでの巡回診療の様子



※参考：緊急救援
ザカルパattia州ウジュホロド：
仮設診療所支援 & 可搬型レントゲン資機材の寄贈
(2022年4月~7月)

全国：

- ①救急車支援
- ②厳冬期対策支援
- ③現金給付支援
- ④緊急対応基金支援



救急車(同じ型を予定)支援



日赤から支援した発電機



※上記は現在予定されている支援内容であること

日本赤十字社のウクライナにおける中長期支援について

日赤からウクライナ赤への二国間支援計画

※日本赤十字社の強みである保健医療支援および都度現地で必要とされる支援ニーズに柔軟に対応

※支援内容については今後現地のニーズに合わせて変更になる可能性があります

場所	項目	概要
リヴィウ	リヴィウ州リハビリテーションセンター支援	リヴィウ市一般救急病院の後送病院であるリハビリテーションセンターの増改築支援。ウクライナ赤十字社がリヴィウ市当局へ行う支援に対し、日赤から建築費および技術支援予定。
リヴィウ	リヴィウ州ウクライナ赤十字社サービスセンター支援	ウクライナ赤十字社が診療所・救急車・救急法講習・巡回診療・訪問看護といった各サービスの拠点となるサービスセンターをリヴィウ州に建設。日赤から建設費およびサービス運用の資金・技術支援予定。
イヴァノ=フランクウスク	巡回診療支援	ウクライナ赤十字社が州保健省と共同で、巡回診療事業を全国で展開し、各姉妹社に州単位での支援を要請。日赤は山間部に国内避難民が集中するイヴァノ=フランクウスク州への資金および事業管理支援予定。
全国	救急車支援	救急車10台（救護班用5台+巡回診療用5台）の支援（ウクライナ国内での調達が困難であることから、日赤が連盟を通じて調達及び資金援助）。
全国	厳冬期対策支援	ウクライナ赤十字社が実施する厳冬期対策への資金援助。日赤からはウクライナ赤および医療施設あての大型発電機、薪ストーブ、衛生用品に対する資金援助予定。
全国	現金給付支援	ウクライナ赤十字社が実施する現金給付支援への資金援助。日赤からは特に国内避難民を受け入れるホストファミリーに対する支援を実施予定。
全国	緊急対応基金支援	ウクライナ赤十字社が武力紛争による流動的な人道支援ニーズに柔軟かつ迅速に対応する目的で、ICRC・連盟・姉妹社の共同出資による基金を設置。日赤から資金援助。